

『第47回 放送文化基金賞』番組部門  
オトナの土ドラ「その女、ジルバ」  
奨励賞を受賞！  
主演・池脇千鶴さんには演技賞も！

過去1年間(2020年4月～2021年3月)の放送の中から選ばれた、優れたテレビ、ラジオ番組や個人・グループに毎年贈られる「放送文化基金賞」の理事会が6月3日(木)開かれ、番組部門で東海テレビ制作の『オトナの土ドラ その女、ジルバ』が奨励賞に選ばれました。

また、ドラマで主演を務めた池脇千鶴さんに演技賞が贈られることも決定しました。

今回の「放送文化基金賞」は、全国の民放、NHK、プロダクションなどから全部で257件の応募、推薦があり、4月から約2ヶ月にわたる厳正な審査の結果、テレビドキュメンタリー、テレビドラマ、テレビエンターテインメント、ラジオの4つの番組部門で、それぞれ最優秀賞、優秀賞、奨励賞の16番組と、演技賞や企画賞など個人6件、さらに個人・グループ部門の放送文化、放送技術で8件の受賞が決まりました。

受賞者には、6月30日(水)午後4時30分から東京會館にて行われる贈呈式で、賞牌・トロフィー、賞金が贈られます。

## ■『オトナの土ドラ その女、ジルバ』の内容

笛吹新(池脇千鶴)、40歳。

憧れだったアパレル会社の販売員として働いていたが、結婚直前で婚約者に裏切られ破談となった上、リストラで倉庫勤務に回されてしまい、お先真っ暗。

夢なし、貯金なし、恋人なし...私の人生、こんな感じで終わってくの？

その日は40歳の誕生日。とはいっても誰から祝われることもなく、届くのはネット通販からのメールだけという、いつも通りパツとしない朝。

社員寮から職場に向かう途中、道端でうずくまっていたヨレヨレの老婆(草笛光子)に気づく。都会の片隅で助ける者もなく...まるで40年後の自分を見た気がしてしまい、思わず手を貸してしまう新。

この出会いが、その後の人生を大きく変えることになるとも知らずに...

その日は、職場でもありがたくない出来事が待っていた。

“出向仲間”である村木みか(真飛聖)と朝礼に出ていると、倉庫部門のチームリーダー・浜田スミレ(江口のりこ)から新任の課長が紹介された。

「ゲッ。ウソ...」新課長は、なんと婚約を破棄した男・前園真琴(山崎樹範)だったのだ。

よりによって、なんでこの世で一番会いたくない男と...

「俺たちやっぱ、赤い糸で結ばれているのかな。こうやって再び出会ってしまうなんて」と能天気にとまう前園に絶句する新。最悪だ...

ストレスまみれの帰り道、新は偶然、一軒のレトロなバー『OLD JACK & ROSE』の張り紙を見つける。

“ホステス求む！時給2000円 未経験者歓迎 年齢40歳以上”

40歳...以上？以上！？

「絶対ウソだ。ワナに決まってる。時給2000円？無理、ホステスなんて。でも家に帰ってゆっくり考えたら絶対あきらめる...今ここで新しい何かをしないと...私は、私の人生を、嫌いになってしまう！」

新は思い切って、店の扉を開ける...！！

がけっぶちアラフォー女性が飛び込んだ超高齢熟女バーの世界で繰り広げられる、笑いと涙の超絶エンターテインメント、開幕！！

\* \* \*

【放送日時】 2021年1月9日(土)～3月13日(土)毎週土曜よる11時40分～12時35分 <全10回>

【スタッフ】 企画 市野直親(東海テレビ)  
原作 「その女、ジルバ」(有間しのぶ、小学館「ビッグコミックス」刊)  
脚本 吉田紀子  
音楽 吉川慶 HAL  
監督 村上牧人 根本和政 ほか  
プロデューサー 遠山圭介(東海テレビ) 松本圭右(東海テレビ)  
雲石瑞穂(テレパック) 黒沢 淳(テレパック)  
制作 東海テレビ テレパック

【出演】 池脇千鶴 江口のりこ 真飛聖 山崎樹範 / 中尾ミエ /  
久本雅美 草村礼子 中田喜子 品川徹 草笛光子